

## (参考1) ご利用イメージ（ご利用できる例）

### (1) 鉄道事業者 11 社局間を相互に乗り継いでご利用いただく例（相互直通路線等に対応）

例1	西武池袋線 所沢駅から、みなとみらい線 元町・中華街駅までご乗車の場合	
例2	東武東上線 朝霞台駅から、相鉄本線 瀬谷駅までご乗車の場合	
例3	京急空港線 羽田空港第3ターミナル駅から、都営浅草線 浅草駅までご乗車の場合	
例4	東京メトロ千代田線 大手町駅から、箱根登山線 箱根湯本駅までご乗車の場合	

### (2) 改札外乗換の例（改札口をいったん出場して乗り換える例）

改札口をいったん出場する乗換駅では、乗換時間が 60 分を超えると、乗換駅からの運賃が新たに必要となります。

例5	上野駅で、改札口をいったん出場して、東京メトロ銀座線から日比谷線へ乗換える場合	
例6	東日本橋駅で、改札口をいったん出場して、都営浅草線から都営新宿線へ乗換える場合	
例7	新宿三丁目駅で、改札口をいったん出場して、東京メトロ線から都営線へ乗換える場合	

### (3) 「のりかえ専用改札」での乗換の例

例8	青山一丁目駅の「のりかえ専用改札」で、東京メトロ線と都営地下鉄線を乗換える場合	
例9	大和駅の「のりかえ専用改札」で、相鉄線と小田急線を乗換える場合。	

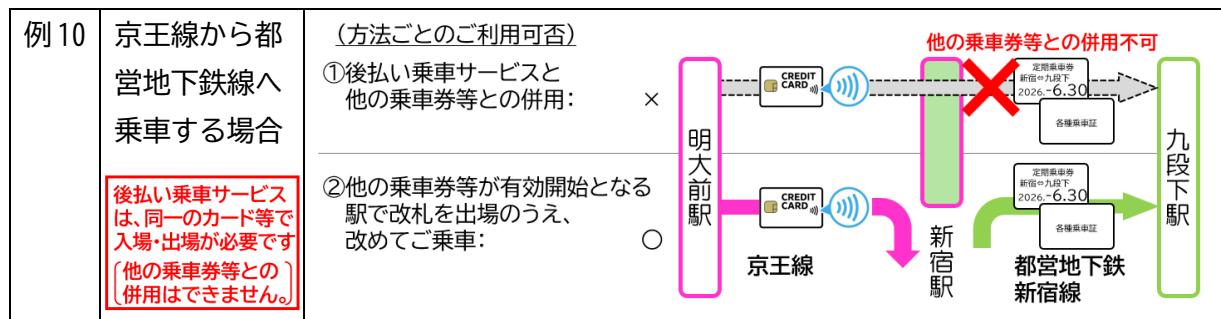
※自動改札機等に設置された読み取り部には、音が鳴るまで、確実なタッチをお願いいたします。

特に、乗換駅では自動改札機等での読み取りができないと降車駅で正しい運賃が差し引けないことがあります。

## (参考2) 制限事項等(ご利用できない例)

### (1) 後払い乗車サービスと、他の乗車券等(定期乗車券等)との併用は、ご利用できません。

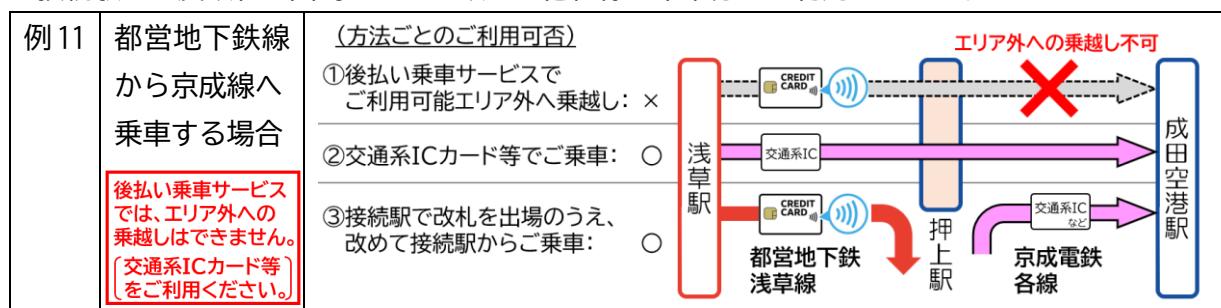
他の乗車券等が有効開始となる駅で一度改札を出場のうえ、改めてご乗車ください。



※ご注意：後払い乗車サービスは、同一のクレジットカード等で自動改札機等を入場・出場してご利用が必要です。他の乗車券等と併用してご利用はできませんのでご注意ください。  
また、「のりかえ専用改札」での乗換えの際も、他の乗車券等との併用はできません。

### (2) 後払い乗車サービスでは、ご利用可能エリア外(対象となる鉄道事業者11社局以外の路線)への乗越しはできません。

ご利用可能エリア外までご乗車になる場合は、交通系ICカード等をご利用いただくか、他社線との接続駅で一度改札を出場のうえ、改めて他社線の乗車券をご利用ください。



※ご注意：ご利用可能エリア外へ乗越しした場合、後払い乗車サービスは乗車駅から無効となります。  
この場合、降車駅では、接続駅から降車駅までの運賃をご精算いただきます。  
また、別途、乗車した鉄道事業者の対象駅で、クレジットカード等の入場履歴の処理と、  
乗車駅から接続駅までの運賃精算が必要です。  
いずれも、現金等(クレジットカード決済以外)で、10円単位運賃での精算となります。

## (参考3) ご利用履歴確認方法

QUADRACが提供するQ-moveサイト(<https://q-move.info/>)へアクセスし、マイページの会員登録手続きが完了しますとご利用履歴を確認いただけます。

<ご利用履歴確認イメージ>

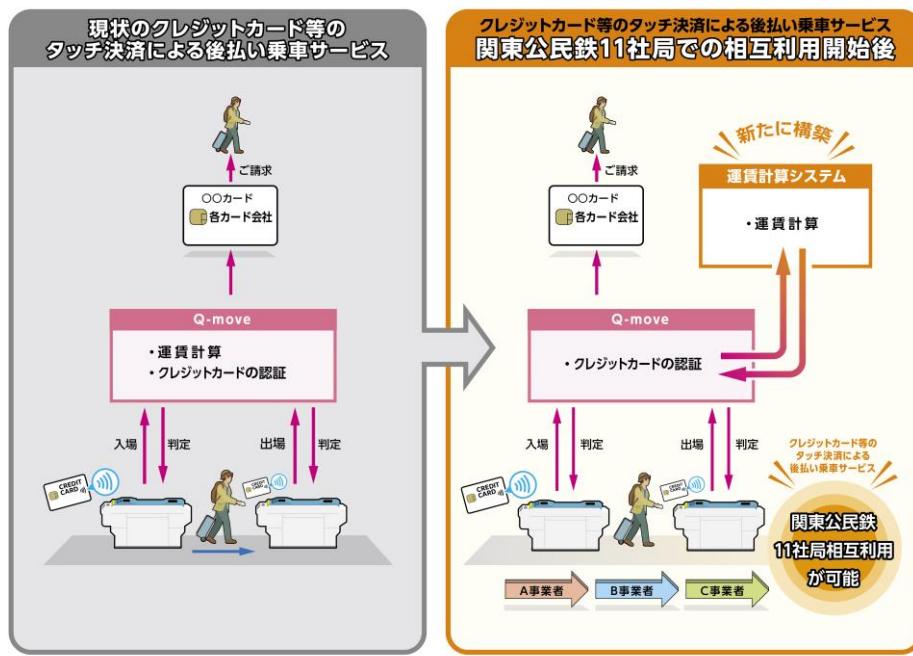
(Q-moveサイト)



#### (参考4) 新たな運賃計算システムの開発と、各社局の役割

後払い乗車サービスの相互利用にあたり、相互直通運転を始めとする関東特有の入り組んだ路線網や改札外乗換等、複雑な運賃計算上の課題に対応するべく、鉄道事業者11社局とOSSが協働し、新たな運賃計算システムの開発を行いました。

この新たな運賃計算システムと、三井住友カードが提供する公共交通機関向けソリューション「steria transit」及びQUADRACが提供するSaaS型プラットフォーム“Q-move”が連携することにより、関東での後払い乗車サービスの相互利用を実現いたします。



#### <各社局の役割>

鉄道事業者 11社局	・本共同事業の総括 ・鉄道の運行、改札システム及び鉄道オペレーションの提供 ・後払い乗車サービスの相互利用に必要な運賃計算システムの開発・構築
OSS	・後払い乗車サービスの相互利用に必要な運賃計算システムの開発・構築
三井住友カード	・steria プラットフォーム(steria transit)の提供 ・Visa、Mastercard、銀聯の導入支援及び認知プロモーション
JCB	・JCB、American Express、Diners Club、Discover の導入支援及び認知プロモーション
QUADRAC	・交通事業者向け決済及び認証に関するSaaS型プラットフォーム「Q-move」の提供

#### (参考5) 「steria transit」について

(URL : <https://www.smbc-card.com/kamei/steria/transit/index.jsp>)

決済プラットフォーム「steria」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMOペイメントゲートウェイ・GMOフィナンシャルゲート及びVisaと共に構築した事業者向け決済プラットフォームです。「steria transit」は、「steria」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」等、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「steria transit」の技術は、MaaSやスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しています。